

発酵の里 NEWS

～表紙写真について～

今月号の表紙は、発酵の里ならではの発酵食品で撮影しました。1月ならではの「お屠蘇」や「かぶら寿司」に、道の駅などで体験を行っている「みそ玉」をかわいらしくアレンジしました。お正月の参考にいかがでしょうか。

お屠蘇（とそ）

「屠蘇」という言葉には「邪気を屠（ほふ）り、魂を蘇らせる」という意味があり、元旦にお屠蘇を飲むと、その年の邪気を除き、家庭健康で幸福を迎えると言い伝えられています。お屠蘇とは、日本酒やみりんで生薬を浸けこんだ一種の薬草酒です。胃腸の働きを盛んにし、血行をよくし、風邪を引かないようにする生薬が含まれています。飲むときは家族全員が東の方角を向き、飲む人の右側から注ぎ、飲む順番は年少者から年長者へと進めていきます。これは若者の活発な生気を年長者に渡すという意味合いと、毒見の名残だと言われています。厄年の人は厄年以外の人に厄を祓う力を分けてもらうため、最後に飲みます。

かぶら寿司（表紙：中央左）

主に石川県で食べられている正月料理で、ブリとカブが旬の12月中旬から2月下旬によく作られます。塩漬けしておいたかぶら（カブ）の輪切りに寒ブリの身をはさみ、麴で漬け込み発酵させた「なれずし」の一種です。江戸時代にはすでに食されていた記録がありますが、かつては高級品で武士階級しか食べられなかったブリを、町民がカブではさみ隠して食べたのが始まりという説もあります。

味噌玉

一個の味噌玉に出汁や具材が入っており、お湯を注ぐと簡単一人分のお味噌汁のできあがり！作り置きしてお弁当のお供に、忙しい朝に…いつでもどこでも風味豊かなお味噌汁がお楽しみいただけます。

年金だより

～20歳からスタート！国民年金～

成人を迎えられる皆さん、おめでとうございます。20歳になると成人として多くの権利が認められますが、また同時に義務も課せられます。国民年金に加入することもその一つです。

私たちは世界で一番長生きできる国に住んでいます。自分の一生を長い目で見た場合、人生設計が大切なものになってきます。長い一生の間には、どんなことが待っているかわかりません。そんな「もしも…」のときに欠かすことができないものが、国民年金です。

国民年金には、20歳から60歳になるまでのすべての人が加入します。20歳を迎えられる皆さん、国民年金に加入して大人の仲間入りをしましょう。

○問合せ 町民課国保年金係

☎ 2113

人権作文コンテスト

神崎中学校 2年

高梨^{りきてる}力輝くん、椿^{あやか}彩華さん
香取人権擁護委員協議会 優秀賞 受賞

法務省と全国人権擁護委員連合会主催の全国中学生人権作文コンテスト千葉大会における香取人権擁護委員協議会において、神崎中学校2年高梨力輝くん、椿彩華さんが優秀賞を受賞しました。また、斉藤杏樹さん、浅野未来哉くんが優良賞を受賞しました。受賞おめでとうございます。



優秀賞を受賞した
椿彩華さん（左）、
高梨力輝くん（右）